

大阪府立豊中高等学校 学校運営協議会 議事録

校名	府立豊中高等学校
校長名	中原 光子

開催日時	令和 5年11月 17日(金) 15:30~16:30
開催場所	大阪府立豊中高等学校 校長室
出席者(委員)	須賀寅充委員、後藤崇志委員、浅田勝利委員、秋山馨澄委員
出席者(学校)	中原光子校長、山下尚紀教頭、土佐泰豊事務部長、宮野淳一首席、志方洋介首席、城台祐樹指導教諭
傍聴者	無し
協議資料	(資料1)令和5年度 学校経営計画進捗状況等について (資料2)英国研修及びSYSTEMIC2023の報告 (資料3)令和6年度使用教科書採択一覧表
備考	

議題等(次第順)	
<p>1 校長挨拶</p> <p>2 協議・報告</p> <p>(1) 令和5年度 学校経営計画の進捗状況</p> <p>(2) 令和6年度教科書選定について</p> <p>(3) その他</p>	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
<p>&lt;令和5年度 学校経営計画の進捗状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度より65分×5限が基本の授業形態となる</li> <li>・授業力向上について。今年度はICT活用の教員相互授業見学を実施中</li> <li>・英語科による北野・豊中・箕面との相互授業見学</li> <li>・教職員研修(ワークショップ型)他校の教諭も参加。「生徒の批判的思考力を育成するために」イベントだけでなく、普段の授業でできることを学んだ。</li> <li>・SSH 第IV期申請をする。</li> <li>・英国語学研修復活。GLHS合同海外研修(サンフランシスコ)も久々に実施。</li> <li>・シンガポール研修は、昨年度金額が跳ね上がったので中止となった。今年度は高い値段であっても募集をした結果、予想外に多くの応募があり、選考することになりそう。</li> </ul> <p>(委員) 批判的思考とはいかなるものか</p> <p>(回答) 生徒自身が何かを否定するというわけではなく、一歩引いて物を見る力のこと。</p> <p>(委員) ベトナム研修の内容はいかなるものか</p> <p>(回答) 文科の研修。ただ、理科も参加できる。現地の日本法人の話の聞いたり、豊中高校のOBを訪問したり。現地校と交流。ベトナムがかかえる問題を、英語でディスカッション。その前にベトナムの町を巡って文化や歴史を学んだ上で行う。</p> <p>(委員) 海外研修でどのような力がつくか</p> <p>(回答) 英国研修ではグローバルアセスメントというテストで、英語力以外の力(積極性や思考力など)を測定している。多くの項目で著しい成長をみせる。</p> <p>(委員) 海外研修の応募者が多数の場合の選考方法はどのようにしているのか。</p> <p>(回答) 選考テストをしたり、プレゼンをさせたり、抽選であったり、研修によって違う。</p> <p>(委員) 成績等で選ぶとどうしても行けない生徒が出てきてしまう。やる気がある生徒に機会を与えられるようにすることが大切。</p> <p>(委員) 65分はおもしろい。できることが増える。ただ、自律性をうまく育てないと難しいところも出てくる。</p> <p>(委員) 点数だけで力を表わせる時代は終わりを迎えている。教員も生徒も忙しくて、ゆっくりものを考える時間がなくなっている。そういうことも頭の中に入れておく必要があると思う。生徒も教員もある程度のゆとりが必要。</p> <p>&lt;令和6年度教科書選定について&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選定結果を事務局より報告し、委員全員の了解が得られた。</li> </ul> <p>&lt;その他&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・働き方改革について、一斉体調日が設けられたが、それ以外にもできることから、教育活動に支障が出ないように進めている。</li> </ul>	

次回の会議日程	
日時	令和6年 2月16日(金) 15:30~

会場

大阪府立豊中高等学校 校長室